

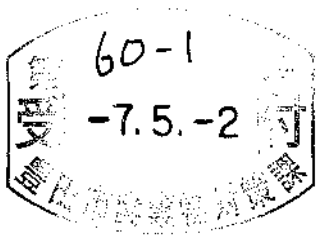
特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7 年 5 月 2 日

豊田市長 殿

提出者
住 所 豊田市神田町1丁目8-9

氏 名 医療法人豊賢会
理事長 鈴木 信吉
(法人にあつては、名称及び代表者氏名)
電話番号 0565-34-1345



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第11項の規定に基づき、 令和6 年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	医療法人豊賢会 加茂クリニック
事業場の所在地	豊田市神田町1丁目8-9
事業の種類	医療業
特別管理産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日

特別管理産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	54.0 t	全処理委託量	54.0 t
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	54.0 t
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	0 t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	14.0 t

電子情報処理組織の使用に関する事項

特別管理産業廃棄物排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	前々年度 54.1 t 前年度 50.0 t
(電子情報処理組織の使用に関して実施した取組) 電子マニフェストの利用割合(電子化率)100%を継続した。	

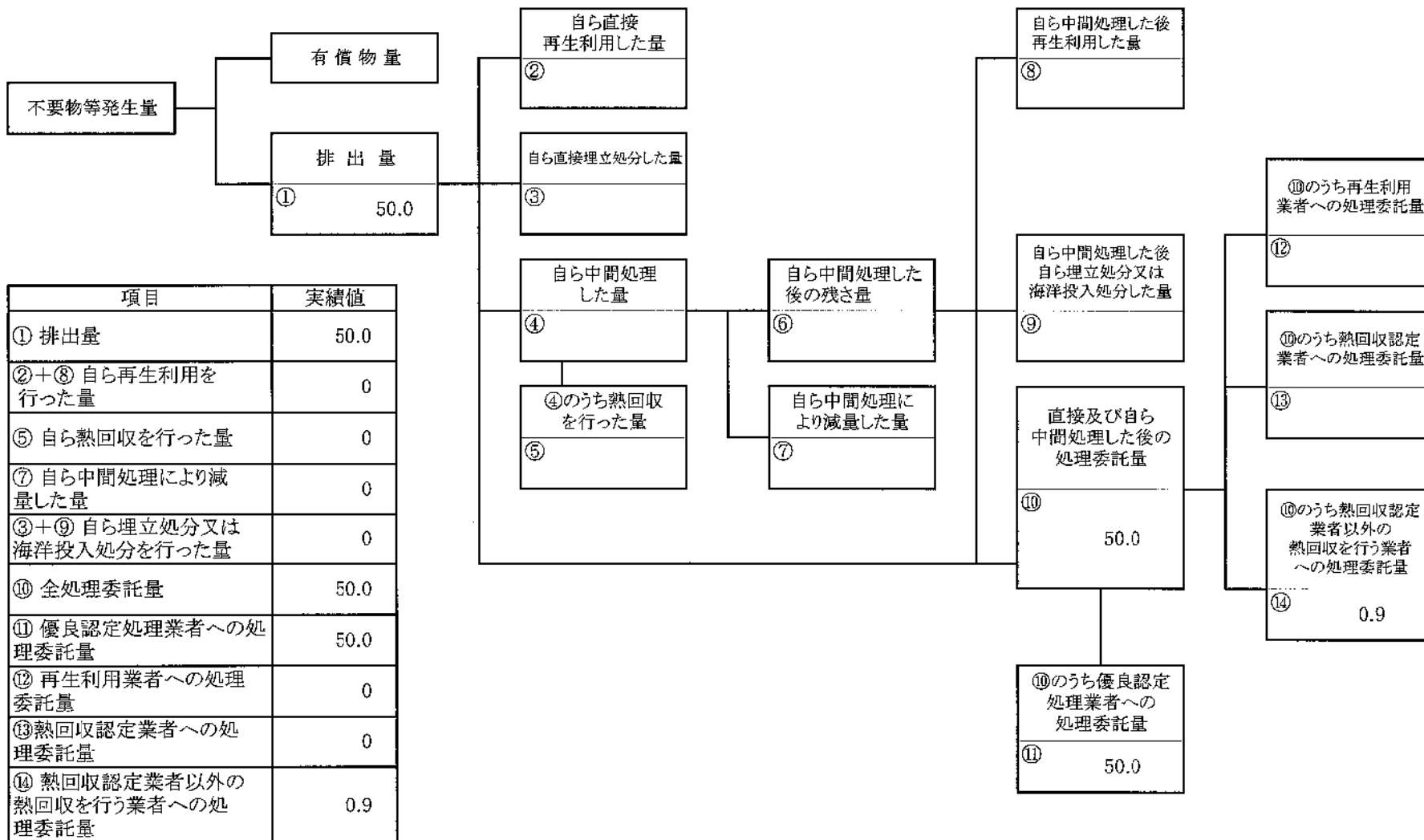
※事務処理欄

計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類 :

感染性廃棄物

)



産業廃棄物処理状況調査票

(No.)

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	医療法人豊腎会 加茂クリニック	従業員数 (人)	97	前年度の3月31日現在の従業員数 (パート等の臨時職員及び役員等を含む) を記入して下さい。
記入者名	事務部 前田 勉	当該事業所の元請完成工事高 (万円/年)		建設業の場合記入。 愛知県内 (政令市を除く。) で行われた工事の年間の元請完成工事高 (出来高工事を含む) を記入して下さい。
連絡先	0565-34-1345	当該事業所の製造品出荷額 (万円/年)		製造業の場合記入。 前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

産業廃棄物の種類 (名称)		感染性廃棄物					
項目							
前年度計画の実施状況 (R6年度実績)	a 不要物等発生量 (t/年)	50.0					
	b 有価物量 (t/年)						
	① 排出量 (t/年) (①=a-b)	50.0					
	② 自ら直接再生利用した量 (t/年)						
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)						
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	④ 自ら中間処理した量 (t/年)						
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑦ 自ら中間処理により減量した量 (t/年) (⑦=④-⑥)	0					
	⑧ 自ら中間処理した後の残さ量 (t/年)						
	⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量 (t/年)						
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)						
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	c 自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (c=⑧-⑨)	0					
	d 直接処理委託量 (t/年) (d=①-②-③-④)	50.0					
	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (⑩=c+d)	50.0					
	e 埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量 (t/年)						
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	f 委託中間処理量 (t/年)	50.0					
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	g 委託中間処理により減量した量 (t/年)	45.0					
	h 委託中間処理した後再生利用した量 (t/年)						
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	i 委託中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	5.0					
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	j 再生利用量 (t/年) (j=②+⑧+h)	0					
	k 中間処理による減量 (t/年) (k=⑦+g)	45.0					
	l 最終処分量 (t/年) (l=③+⑨+e+i)	5.0					

(注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。

2 再生利用用途コード A:原料・材料 B:燃料 C:飼料・肥料 D:建設材料 E:その他(具体的に記載)

3 処理方法コード A:焼却・熔融 B:脱水・乾燥 C:破砕・圧縮 D:中和 E:その他(具体的に記載)

4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No.欄にページを記載してください。

5 ①~④、⑥~⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。